

# 国内外の動向

---

平成30年11月6日

人間中心のAI社会原則検討会議

事務局



# 国際的な議論の動向

## AIに関する専門家会合 (OECD) 【2018年 (平成30年) 9月24、25日】

経済協力開発機構 (OECD) は、AIに関する専門家会合 (AIGO: AI expert Group at the OECD) の第1回会合を開催。本会合は、2019年中の理事会勧告の策定を視野に入れ、その中心となるAIの信頼構築と社会実装を促す原則 (To Foster Trust in and adoption of AI) の内容の絞込み等を行うことが目的。

AIGOはOECDの加盟国や諮問委員会から派遣された産学民官の専門家等で構成され (議長: Wonki Min デジタル経済政策委員会議長)、日本からは東大・須藤教授、中大・平野教授が参加。

今後、第2回会合 (11月12日 (パリ))、第3回会合 (翌年1月16-17日 (MIT (ボストン))) を開催し、理事会勧告の内容に関する議論を進めていく予定。

## 欧州連合 (EU) のAI倫理等に関する議論の動向

欧州連合 (EU) では、AI倫理等について以下のフレームワークで議論を進めている:

### Ensuring an appropriate ethical and legal framework

- Develop draft AI ethics guidelines\* – draft December 2018, final version March 2019
- Issue a guidance document on the interpretation of the Product Liability Directive by mid-2019
- Publish a report on the broader implications of AI for the liability and safety frameworks
- Support the development of explainable AI
- Implement a pilot project on Algorithmic Awareness Building

\*AIに関する倫理ガイドラインのドラフト案には、公平性、安全性、セキュリティ、社会的包摂性、アルゴリズムの透明性が含まれ、さらに広範囲な議論として、プライバシー、尊厳、差別禁止などの基本権利への影響が含まれる予定。